

早稲田大学 第一文学部 世界史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式・論述(25字)
試験時間	60分
特徴・その他	短いながら論述問題が出た。サンプル問題にはなかったので意外の感がある。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔 〕	先史 古代中国(周～戦国)	教科書レベルの空欄補充問題。	易
〔 〕	古代オリエント 古代ギリシア・ローマ	2の「ラー」は「アモン」がテーベの守護神であったことから類推する。4は「民主政確立の出発点」と「前6世紀初頭」からソロンに確定する。5はアントニヌス勅令をさす。カラカラは通称。	標準
〔 〕	中国正史の思想	論述は内容的には平易だが、指定語句だけだとマスに空きができる。25字一杯に書くよう努めたい。	標準
〔 〕	前近代の交易	Bはモルッカ諸島が香料諸島とも呼ばれていたことがヒントとなる。Cのダウ船のように船舶の形式を問う問題は最近のはやり。	標準
〔 〕	ルネサンス(写真)	2のジョットと4の遠近法は答えにくいだが、ジョットはマサッチョに先行することから連想、遠近法は一般常識で対応可能。	やや難
〔 〕	バルト海の歴史 (地図)	1のハンザ同盟に対抗する同盟が存在したというのは初耳のはず。これはハンザの戦争相手がデンマークということからカルマル同盟を連想する。5はシュレスヴィヒとホルシュタインの位置関係がわかれば簡単に答えられ	やや難

〔 〕	列強のアジア・アフリカ進出と民族運動	る。 3の綿花の産地としては西トルキスタンが盲点となる。	易
〔 〕	各種史料（記録・宣言・条約）	3は二月革命当時の首相	標準

〔総合コメント〕

範囲は古代・中世に偏っており、早大の他学部に比べると現代史の比重が極端に軽い。難易度は早大としてはかなりやさしいという印象を受ける。合格者の平均点は高いと推定され、小さなミスも致命傷になりかねない。